

令和7年3月5日

保護者の皆様

稲沢市立小正小学校長
常 盤 圭

教育活動に関するアンケート結果について（ご報告）

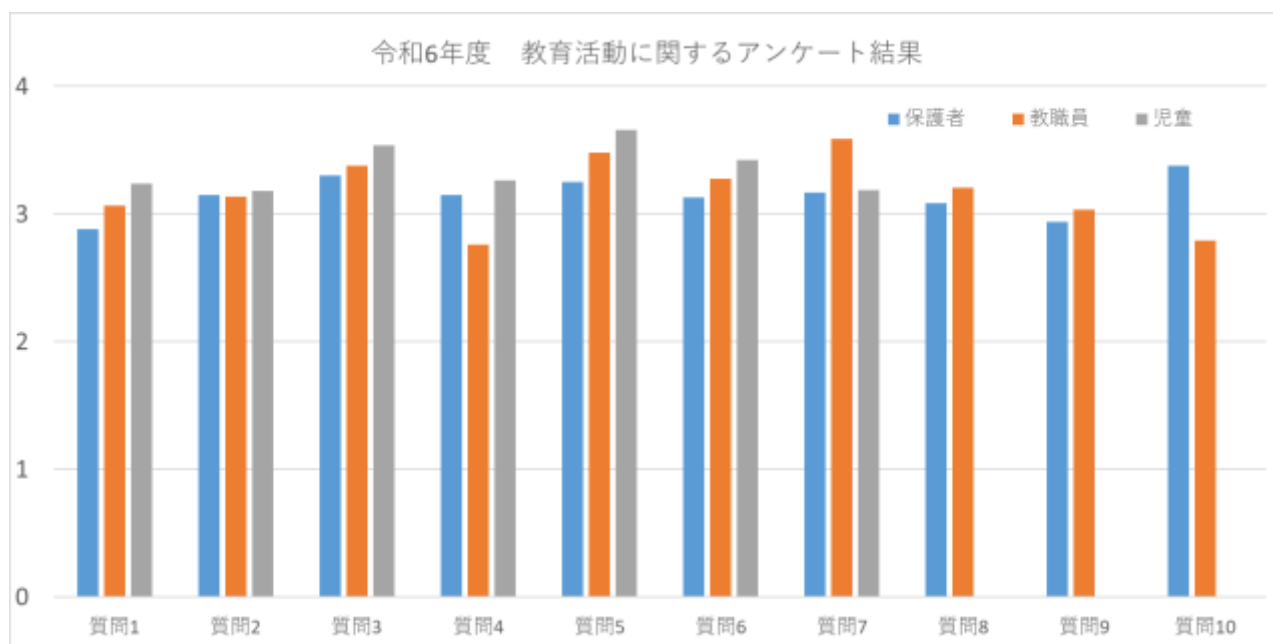
早春の候、皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、過日は「保護者アンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。4年生以上の児童や教職員にも同様のアンケートを行い、その集計結果を下記のようにまとめましたのでご報告させていただきます。

記

1 アンケートの質問内容と結果

質問内容（あてはまる：4 概ねあてはまる：3 あまりあてはまらない：2 あてはまらない：1）	
問1	子どもたちは、課題を解決するために、ICT機器を活用したり、学んだことを振り返ったりしながら主体的に学習に取り組んでいると思う。
問2	子どもたちは、教科や総合的な学習の時間等で、友達や多様な人々との話し合いや活動を通して、考えを広げたり深めたりし、工夫して学習に取り組んでいると思う。
問3	子どもたちは、仲間と協力しながら、学級活動、委員会活動、学校行事などを通して、主体的に絆づくり、よりよい学校づくりに取り組んでいると思う。
問4	子どもたちは、基本的な生活習慣（あいさつ、返事、掃除、時間厳守等）が身に付いていると思う。
問5	子どもたちは、健康や交通安全、防犯・防災に関する指導等を通して、健康や安全に対する意識を高め、命を大切にしようとする態度が育っていると思う。
問6	子どもたちは、自らの心身の健康や体力の向上を意識し、目標に向かって、粘り強く授業や学校行事などに取り組んでいると思う。
問7	教職員は、いじめや差別のない、温かい学級や学校づくりに努めていると思う。
問8	公開授業や学校行事、家庭連絡、学年だよりやホームページ等を通して、子どもたちの学校での様子を知ることができる。
問9	学校・家庭・地域で情報や課題を共有し、共通の目標のもと、子どもたちの学びや成長を支える体験活動や教育活動に協働して取り組んでいると思う。
問10	教職員が心身ともに健康で、子どもたちと向き合えるよう、学校は早朝・夜間の電話対応の制限（緊急時は除く）、業務改善等、働き方改革を進めていることを理解している。



2 「特に満足できる」と考えられる項目

（1）助け合う子

「助け合う子（質問3）」について、保護者・児童・教職員いずれも9割以上が評価（「あてはまる」または「おおむねあてはまる」と回答）しており、子どもたちは仲間と協力しながら、学校

生活を送っていると言えそうです。児童会が中心となって計画・実施した異学年交流や「思いやりツリーキャンペーン」、月に一度担任を入れ替えて行ったグループアプローチ（ふれあい活動）などを通して、子どもたちは自分や仲間のよさに気づき、思いやりの心を育てることに繋がったと考えられます。

（２）命を大切にする子

「命を大切にする子（質問５）」について、保護者・児童・教職員いずれも９割以上が評価しており、子どもたちは命を大切にしようとする態度が育っていると言えそうです。交通安全教室や避難訓練を通して、交通安全や防災に対する意識を高めたり、元気アップカードにより健康的な生活習慣の振り返りを行い、自分自身の生活と心の健康に目を向け、健康意識を高めたりしたことが要因であると考えられます。また、６月に開催した児童学校保健委員会では、「心の健康～イライラしたときどうしたらいい？～」というテーマでスクールカウンセラーによる講話を聞きました。子どもたちは、イライラした時や悲しい時の対処法を知り、実践意欲を高めることができました。

（３）がんばり抜く子

「がんばり抜く子（質問６）」について、保護者・児童・教職員いずれも約９割が評価しており、子どもたちは、目標に向かって粘り強く努力することができていると言えそうです。小正っ子運動会では、仲間と競い合ったり協力したりする活動を通して達成感を味わうとともに、最後までやり抜く粘り強さを育むことができました。また、道徳の授業を大切に、「命を大切に、たくましい体と精神で、最後までがんばり抜く子を育てる」という重点目標をもとに、学校の教育活動全体を通して、各学年の実態や発達段階に合わせた取組を行ったことも評価が高かった要因であると考えられます。

３ 「今後さらなる充実が必要である」と考えられる項目

（１）きまり正しい子

「きまり正しい子（質問４）」について、保護者・児童・教職員いずれも約９割が評価していますが、自由記述において「もっと挨拶ができるようになってほしい」という保護者の意見が多くありました。本年度、挨拶を通して元気で一体感のある学校にしたいという子どもたちの願いをもとに、６年生が主体となり挨拶キャンペーンを実施しました。登校時に子どもたちが校門に立ち、自主的に元気な挨拶をすることで、学校全体に挨拶の輪が広がっていきました。また、廊下の右側歩行を徹底するために廊下の中央に折り紙を並べたり、啓発ポスターを作って掲示したり、時間を守って下校できるようにメガホンを使って子どもたち同士で呼びかけたりと、規則正しく学校生活を送ることができるよう自分たちで考え行動する姿が多くみられました。

今後も、基本的な生活習慣を身に付けたきまり正しい子の育成を目指して、ご家庭とともに努力していきます。

（２）家庭・地域との連携・協働

「家庭・地域との連携・協働（質問９）」について、保護者・教職員ともに８割以上が評価していますが、学校と家庭と地域がさらに連携・協働して、子どもたちを育てていく体制づくりや環境づくりを目指していきたいと考えています。

本年度は、保護者全員学校サポーターの取組に力を入れました。「国府宮神社見学の引率サポーター」「交通安全教室立ち番サポーター」「スーパーマーケット見学引率サポーター」「奉仕作業お手伝いサポーター」など、様々な場面でサポーターを募集したところ、多くの保護者や地域の方が参加してくださいました。また、参加者からはサポーター活動に参加し、日常の学校や子どもたちの様子を見ることができてよかったと好評をいただきました。また、学校公開日を年に３回設けるとともに、ホームページをこまめに更新したり、定期的に学年だよりを配信したりすることで、リアルタイムに子どもたちの様子を知っていただけるようにしました。

今後も、学校・家庭・地域で力を合わせて小正小学校の子どもたちを育てていけるよう保護者や地域の皆様とさらに力を合わせて、開かれた学校づくりに努めていきます。

４ その他

アンケートの結果は、本校のホームページでもご覧いただけます。今回のアンケート結果を参考にしながら、今後ご家庭・地域の皆様とともに教育活動の充実・改善に努めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。（<http://www.inazawa-aic.ed.jp/ekoss/>）